

「家族でやま学の日」について

山口県では、未来につながる家庭での体験的な学び・探究的な学びを応援するために、「家族でやま学の日」を導入します。

「やま学」とは、「やまぐち型地域体験・探究学習」の略称です。「やまぐちで学ぶ」「やまぐちを学ぶ」をモットーに、平日だからこそできる学校外での学習活動をお子さんと一緒に計画してみませんか。

「家族でやま学の日」とは…

- 山口県全体のワーク・ライフ・バランスの充実をめざした、新しい学び方・休み方です。
- 山口県内の公立学校(小・中学校、高等学校、特別支援学校)に通う子どもたちが、休業日以外に家族とともに、校外(家庭や地域)で、体験や探究の学び・活動を考え、企画し、実行することができる日が、「家族でやま学の日」です。和木町は、「和木こども園」も対象です。
- 保護者の休暇に合わせて、事前に申請手続きを行うことで、取得できます。(年間3日以内)
- 校外での自主学習活動であるため、欠席とはならず、「出席停止等」と同じ扱いとなります。

◇ 活用までの流れ ◇

① 計画を立てよう

- ・ どこへ行くか、何を学ぶかなど、家族で一緒に計画を考えましょう。
- ・ 計画をもとに、申請の準備をしましょう。

② 申請手続きをしよう

- ・ 出かける前に、申請手続きをしましょう。
- ・ 校長の承認を受ければ、手続きは完了です。

③ 「家族でやま学の日」を満喫しよう

- ・ 体験的・探究的な学びを楽しみましょう。

④ 振り返ろう

- ・ 帰宅後、活動の振り返りを行い、今後の学校生活や日常生活にどのように生かしていくか、家族で話をしましょう。



◇ 留意点 ◇

- 「家族でやま学の日」は、事前に申請手続きを行う必要があります。(原則として一週間前まで)
- 学校ごとに、学校行事や考査などのため「家族でやま学の日」を取ることができない日があります。詳しいことは、学校へお問い合わせください。
- 「家族でやま学の日」を活用したことで受けられなかった授業内容は、原則、家庭で補うこととなります。

★「家族でやま学の日」の活動のポイント★

- 家族で「一緒に過ごす時間」が大切です。
- 「何を学ぶか」を事前に子どもと一緒に話し合ってみてください。
- 遠くへ行かなくても、身近な地域にも「学びの種」はあふれています。

【学びのキーワード】

自然・科学・環境・実験・観察・産業・スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・見学・創作・鑑賞・キャリア教育…等

◇地域の史跡めぐり◇



地域ガイドと一緒に史跡をめぐり、地元の歴史について学び、新聞やスライドにまとめてみよう

◇身近な植物調査◇



家の周りの植物について図鑑やインターネットを使って調べ、分布や季節による違いを整理してみよう

◇いろいろな表現で◇



家族で使う食器など、自由な発想で形作り、実際に使ってみた感想を共有しよう

◇家族で農業体験◇



収穫した野菜などを使ったオリジナル献立を考え、調理を計画して、家族にふるまってみよう

◇自然を感じる◇



山や川、海などの自然に触れ、そこでしかできない体験をしてみたり、写真などの記録におさめたりしてみよう

◇新たなスポーツへの挑戦◇



普段学校では経験できないニュースポーツに、家族みんなで挑戦したり、独自のルールを考案したりしてみよう

「家族でやま学の日」Q & A

**Q1 「家族でやま学の日」を連続して取ることはできますか？
また、残った日は、次年度に繰り越すことはできますか？**

連続して取ることはできますが3日が上限です。また、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q2 急遽休みが取れることになった場合、前日に「家族でやま学の日」を申請することはできますか？

原則として一週間前までの申請としています。学校にご相談ください。しっかりとした計画を立てて学習活動を行っていただきたいので、早めの申請をお願いします。

Q3 「家族でやま学の日」に、県外や旅行に出かけてもよいのですか？

やま学(やまぐち型地域体験・探究学習活動)ですので、「体験」「探究」の学びの要素が必要です。「楽しかった」だけの取組にならないよう家族でよく話し合い、「何を学ぶため、どこで、どのような体験や探究に取り組むのか」など、計画を立てて実行に移すことが重要です。

.....【お問い合わせ先】.....

■制度全般・申請手続き等に関すること

和木こども園 ☎ 52-2707

和木小学校 ☎ 53-2655

和木中学校 ☎ 52-4328

学校・園の担任や教頭（園は副園長）まで